

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 30. 4. 11 第 196 回国会第 8 号

4 月 11 日（水）、第 8 回の委員会が開かれました。

1 森林経営管理法（内閣提出第 38 号）

独立行政法人農林漁業信用基金法の一部を改正する法律案（内閣提出第 39 号）

- ・齋藤農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、野中農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

山本拓君（自民）

- ・森林経営管理法における天然林の取扱いについて伺いたい。
- ・木質バイオマス発電の材料の輸入の状況について伺いたい。
- ・地球温暖化対策に係る 2020 年度の CO₂ の森林吸収量の目標値、2013 年度から 2015 年度の 3 年間の実績値はどのようになっているのか。

石川香織君（立憲）

- ・林業従事者の確保対策にどのように取り組むのか。
- ・林業経営者の労働条件の改善に対する対応について伺いたい。
- ・森林環境譲与税（仮称）の用途のチェック体制についてどのように考えているのか。

神谷裕君（立憲）

- ・森林環境譲与税（仮称）の用途に公有林の整備を含めるべきではないか。
- ・森林境界の明確化に向けてどのような取組を行っているのか。
- ・森林所有者が責務を果たさない場合、又は、経営管理権集積計画の作成を申し出たにもかかわらず対象森林とならなかった場合にどのような対応をとるのか。

緑川貴士君（希望）

- ・林業の成長産業化を図っていくためには、既存施策の充実や予算の確保も必要ではないか。
- ・林業の成長産業化を図る上で「山村等における就業機会の創出と所得水準の上昇」の重要性をどのように考えて

いるのか。

- ・自伐林家による森林管理を支援していくべきではないか。

田村貴昭君（共産）

- ・愛媛県が作成し農林水産省に手交したと報道されている学校法人加計学園に関する文書の存在について農林水産省として確認できたのか。
- ・「森林所有者の経営意欲は低い」とする林野庁の資料は恣意的ではないか。
- ・新たな森林管理システムを検討するに至った経緯について伺いたい。

森夏枝君（維新）

- ・新たな目的税を導入する前に、既存の予算を見直すことが必要ではないか。
- ・森林環境税（仮称）と既に府県等で導入されている類似の超過課税とのすみ分けについてどのように考えているか。
- ・森林管理に係る市町村の人材をどのように育成していくのか。

金子恵美君（無会）

- ・森林環境税（仮称）だけでなく、既存の予算についても確保していくことが必要ではないか。
- ・確実な再造林のため、鳥獣被害対策も含めた支援を行っていくべきではないか。
- ・林業部門の専従職員が不足している中で市町村の体制整備を国としてどのように支援していくのか。